

おだいいい!



SST（ソーシャルスキルトレーニング）の模擬風景です。人の関わり方や自分の気持ちを伝えるなどの社会的なスキルを身につけるためのトレーニングです。

特集

- 直撃インタビュー／佐古 真紀 室長
- 病院探検隊／PVP治療のご紹介
- 浅香山NEWS／第24回 浅香山健康セミナー開催のお知らせ

直撃インタビュー!!



浅香山病院
デイケア室
佐古 真紀 室長

Q. 精神保健福祉士を目指したきっかけはなんですか？

A. 漠然とですが人と関わる仕事に就きたいと思っていました。大学で社会福祉について学ぶ中で、精神科ソーシャルワーカーという職業があることを知り興味を持ちました。

Q. 精神保健福祉士の業務について教えてください

A. デイケア室の利用者さまが望む生活の実現に向け、その方の生きづらさや生活上の困難・課題に向き合い、どう乗り越えていけるかをともに試行錯誤しています。そのためには信頼関係の構築がベースになると思っています。

Q. デイケア室はどのような部署ですか？

A. 精神科に通院されている患者さまを対象としたリハビリテーション治療を担っている部署です。医師、看護師、作業療法士、公認心理師、精神保健福祉士といった多職種がチームで関わることができるのが大きな特徴であり、強みだと思います。様々なプログラム活動を提供しているA館デイケアと喫茶・食堂の運営を主としたサロンデイケア2種類に加えてナイトケア、デイナイトケアも実施しています。

Q. 業務でのやりがいを教えてください

A. 日々の活動を通して利用者さまが回復していく過程に携われることにやりがいを感じています。病気のために社会的つながりを喪失してしまったり、自信をなくしてしまう方もおられます。利用者さまが自信を取り戻し家族関係や社会とのつながりを回復するための伴走者であることを意識しています。安心できる関係性を築くこと、安心できる場の提供を心がけています。

Q. 休日の過ごし方について教えてください

A. 学生の頃から続けているバレーボールをしたり、子どもの試合観戦に行くことも多いです。

Q. 患者さま、利用者さま、地域の皆さまへメッセージをお願いします

A. デイケアを利用することが生活の安定につながったり、次のステップへ進んでいくきっかけに思ってもらえればと思っています。地域の他医療機関におかかりの方にもご利用いただけますので、ご希望の方はお気軽にお問合せください。



堺市で初!
2024年9月より導入

前立腺肥大症の治療に対するグリーンライトレーザ装置を導入しました!

病院
探検隊

PVP治療
ご紹介 編

今回は当院泌尿器科で導入されたグリーンライトレーザをご紹介します!

前立腺肥大症の治療に対する、身体に負担の少ない最新のレーザ療法『光選択的前立腺蒸散術 (PVP)』を開始しました。

◎前立腺肥大症とは

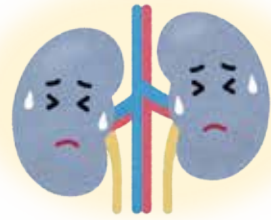
前立腺肥大症は、膀胱のすぐ下にある前立腺が大きくなり尿道を圧迫する疾患です。現在では、食生活の欧米化などにより80歳までに日本人男性の約80%が前立腺肥大症になるといわれています。

◎前立腺肥大症の症状について

- 頻繁に尿意をもよおす、特に夜間 (夜間頻尿)
- 尿の出る勢いが弱い、時間がかかる
- 膀胱内の尿をすべて排出できない (残尿感)
- 排尿時にいきむ必要がある など



このような排尿機能に関わる疾患のため、症状が起こっている前立腺だけでなく尿をためる臓器である膀胱の機能が低下し残尿を引き起こし、尿を産生する臓器である腎臓に負担がかかり腎不全といった症状に至る可能性があります。



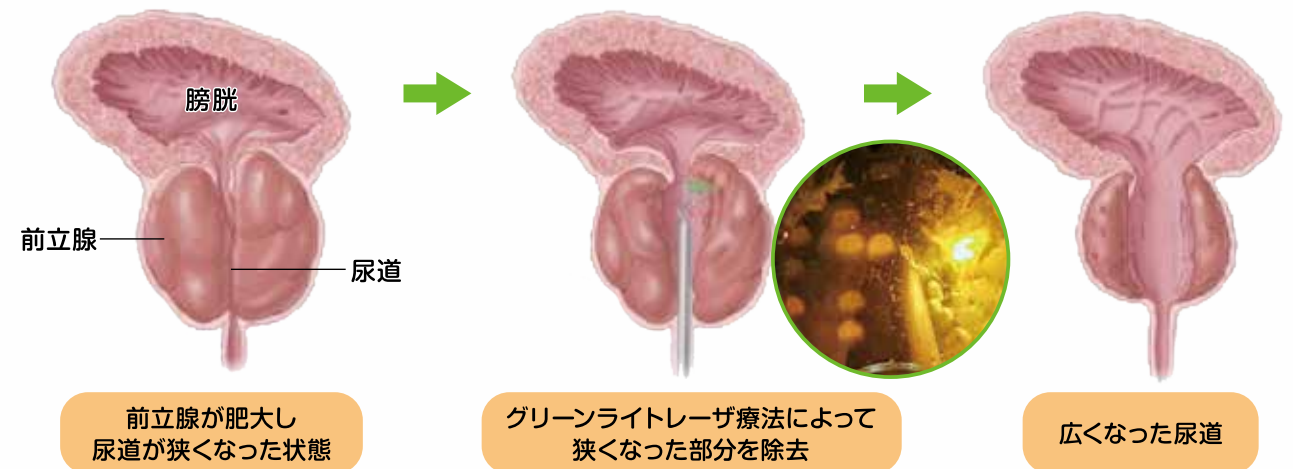
◎前立腺肥大症の治療法

前立腺肥大症の治療において、一般的に薬物療法がまず選択されます。しかし、薬物療法の治療効果には限界があり、薬物療法に代わりうる身体に負担が少ない低侵襲治療に近年注目が集まっております。当院では堺市で初めてグリーンライトレーザ装置を導入し、前立腺肥大症に対する低侵襲治療である「光選択的前立腺蒸散術 (PVP)」を開始しました。

◎グリーンライトレーザ療法の特徴

グリーンライトレーザ療法とは、入院の上、全身麻酔下に尿道から内視鏡を入れて、尿道を圧迫する肥大した前立腺をレーザ照射する治療法です。この治療法は、従来の電気メスを用いた前立腺切除術と比較して、同等以上の効果や有効性が得られ、下記のようなメリットも期待できます。

- 広範囲のレーザ照射によって、短時間で前立腺を蒸散できるため身体への負担が少ない
- 従来の電気メスを用いた切除術と比較して、術中の出血量が少ない
- 術後の痛みも少なく、さらに入院期間が短い
- 心疾患や脳血管障害などの治療で抗凝固薬や抗血小板薬を服用されている方や、ご高齢の方でも手術が可能



©2024 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.

◎泌尿器科兼人工透析センター 医長 島田 久生 医師より

PVP治療は前立腺肥大症に対して安全で有効な治療法ですが、急に我慢ができないような尿意が起こるといった過活動膀胱の方や、慢性前立腺炎 (尿道や会陰部の不快感) による症状の方にはレーザ療法の効果が期待できないこともあります。前立腺肥大症でお困りの方は、一度泌尿器科外来までご相談ください。

第24回 浅香山健康セミナー ～地域の皆さまが元気になるために～
開催のお知らせ

男性も女性も
知っておきたい

泌尿器科疾患・治療について

～浅香山病院泌尿器科の挑戦～

本セミナーでは、男性・女性ともに起こりうる排尿障害（おしっこトラブル）をはじめとする泌尿器科疾患や今回新規に導入した最新のレーザー治療法について、浅香山病院の泌尿器科医がわかりやすくお話しいたします。

講師

浅香山病院 泌尿器科兼人工透析センター

しまだ ひさお
医長 島田 久生 医師

参加費
無料

申込み
不要

日時

令和7年3月8日(土) 14:00～15:00
(13:00～受付開始)

13:00～14:00に血圧測定や筋力測定他、当院関連施設のご紹介コーナーなどイベント会場を設置しております。是非お立ち寄りください。

会場

関西大学 堺キャンパスA棟5階

南海高野線 浅香山駅より 徒歩約1分

当院駐車場より 徒歩約10分

※駐輪場は会場内にごございます。



皆さまのご来場を心よりお待ちしております！

感染症対策のため、マスクの着用と手指消毒のご協力をお願いいたします。

会場では職員がカメラ撮影や録画をさせていただきます。

当院の広報誌やホームページに掲載される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ

浅香山病院 地域医療連携室

電話番号 072-229-4882(代表)

※関西大学へのお問い合わせはご遠慮ください。